

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Dose-Adjusted EPOCH 療法 【20%増量】

3 週毎 **コース予定**
疾患名 **悪性リンパ腫**

主治医 **指導医** HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

			day1	day2	day3	day4	day5
ドキシソルビシン	12 mg/m ²	}	→	→	→	→	
オンコビン(ピンクリスチン)	0.4 mg/m ² (最高 0.5 mg)						
エトポシド	60 mg/m ²						
エンドキサン(シクロホスファミド)	900 mg/m ²						↓
プレドニン(プレドニゾロン)	60 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓

- 【注意】 * ドキシソルビシンの総投与量は 500 mg/m² を超えないこと
 * 1 コース目の EPOCH 療法後に好中球数最低値 ≥ 500/mL かつ血小板数最低値 ≥ 2.5 万/mL の場合は、2 コース目よりドキシソルビシン、エトポシド、シクロホスファミドの投与量を 20% 増量する。
 * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100 mg を輸液 250 mL 以上で溶解(濃度 0.4 mg/mL 以下の濃度になるように)し、30~60 分で点滴静注するのが望ましい。また、DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C を内服

- | | |
|---|----------------------|
| ① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包 | 内服 |
| ② 生食 500 mL で血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ③ ドキシソルビシン + オンコビン + エトポシド + 生食 500 mL | 持続点滴 24 時間(20 mL/時間) |

day 2 - 4 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

- | | |
|---|----------------------|
| ① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1 包 | 内服 |
| ② 生食 500 mL で血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ③ ドキシソルビシン + オンコビン + エトポシド + 生食 500 mL | 持続点滴 24 時間(20 mL/時間) |

Dose-Adjusted EPOCH 療法【20%増量】

day 5 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

- ① グラニセトロン内服ゼリー(2 mg) 1包 内服
 - ② 生食 100 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
 - ③ エンドキサン + 生食 100 mL 点滴静注 30分(200 mL/時間)
- ◎ 血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下 30分 で点滴静注

day 1 - 5 プレドニン 内服

	コース目				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
ドキソルビシン オンコピン エトポシド 開始時刻	→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻					↓
確認					

	コース目				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
ドキソルビシン オンコピン エトポシド 開始時刻	→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻					↓
確認					

Dose-Adjusted EPOCH 療法【20%増量】

	コース目				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
ドキソルビシン オンコピン エトポシド 開始時刻	→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻					↓
確認					

	コース目				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
ドキソルビシン オンコピン エトポシド 開始時刻	→	→	→	→	
エンドキサン 開始時刻					↓
確認					